

第50号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

日資連界報

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1
TEL 03(3263)9101
発行人 上岡克己
編集人 森岡伸志
印刷 株式会社資源新報社

第38回通常総会を開催 上岡克己新会長を選出 新年度事業計画を承認、決定

日本再生資源事業協同組合連合会(紺野武郎会長)は五月十四日、東海大学校友会館において「第三十八回通常総会」を開催した。

紺野会長のあいさつに続き審議された議案は全て原案通り可決された。今期は役員改選期に当たり、二期四年の間会長を務められた紺野会長が勇退され、新会長には群馬県連の上岡克己氏が選出された。なお副会長等のその他の役員については理事会の承認の後、六月の全国大会で発表される。

上岡会長は経済産業省の認可取得など日資連に多大な貢献をなされた紺野前会長への謝意を述べられると共に、会長就任に当たっての決意と抱負



「ご挨拶」

強固な組織づくり進め 会長 上岡 克己

米国のリーマンショックを契機とした世界同時不況により、国内景気の大幅な後退とともに、最大の需要地である中国をはじめとした世界市場で



の再生資源需要の急速な冷え込みなど、ここ一二年、我々業界環境は非常に厳しい状況が続きました。景気は徐々に回復基調が鮮明になりつつありますが、国内生産の回復もリーマン以前の状況に戻すことは難しいと観測されており、需要環境と併せて再生資源の発生についても懸念される状況が続くものと思われ

そのようななか、日資連発展に数々の功績を残された紺野前会長の跡を継ぎ、さきの第三十八回総会で会長を仰せつかりました。浅学非才な身で、このような大役は身に余るものではありませんが、

この難局に際して、微力ではありますが大役をまっとうしたいと、身の引き締まる思いでおります。現在、我々再生資源業界を取り巻く経済情勢は非常に厳しい状況にありますが、今後についても国内経済の回復の度合い如何では、我々業界にさなる影響も懸念される場所です。

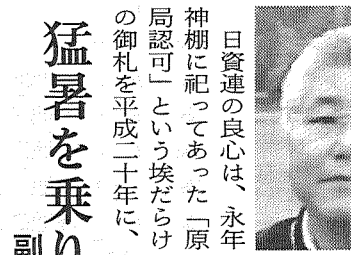
また、日資連組織の運営についても、連合会財政の健全化や社会的地位の向上など、課題が山積



さらなる前進を 副会長 谷中 勝典

やっと「本省認可」という新しい御札に取り換えることができました。

日資連は、これからも1%のボランティアの良心得、残りの99%を目的の地までの歩を進めるための努力を常に続けて行かなければならない。



猛暑を乗り越え 副会長 山原 丈之

出で、梅雨明けしても猛暑日の中、体調を崩されないように、この夏を乗り切って頂けたら幸いです。

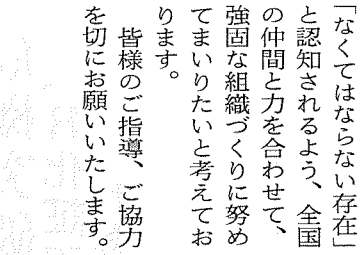
今、奈良では平城遷都千三百年祭が行われていますので、機会があれば奈良にお越し下さい。



設立15周年を迎え 副会長 佐々木 秀美

現在は市内・近郊の回収業者を中心に四十八社が加盟、活動しているところで、

当組合は、遠隔地ということもあり、連合会の活動にはなかなか参加出来ませんが、今後ともよろしくお願ひします。

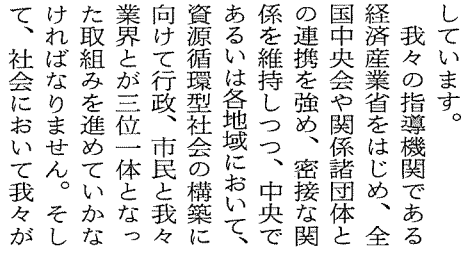


広域的な連携を 副会長 星本 昭次

の星本です。

栃木県は関東の北、新日資連会長の上岡会長の群馬県とは隣接県、会員相互の経済交流もさかんな地域であります。

しかし、現在の業界環境を改善するためには、日資連会員の皆様のご理解とご協力をお願いするものであります。

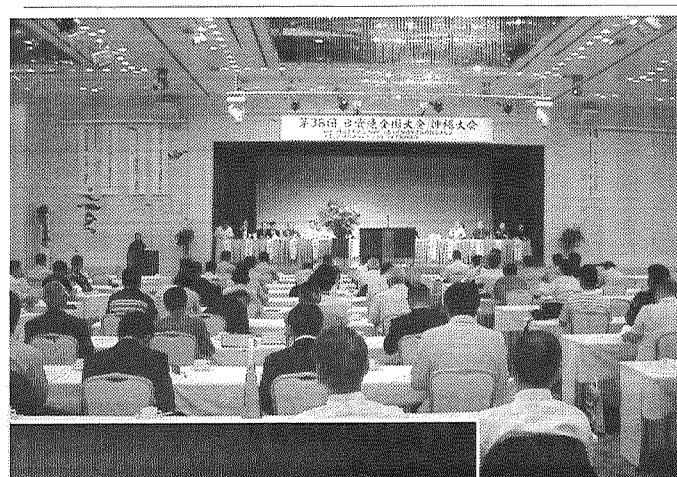


積極的な行動で 専務理事 吉川 太郎

が生じております。

日資連としては、上岡会長を中心に、皆様の御協力を頂きながら、積極的に行動をしていかねばならないと思っております。

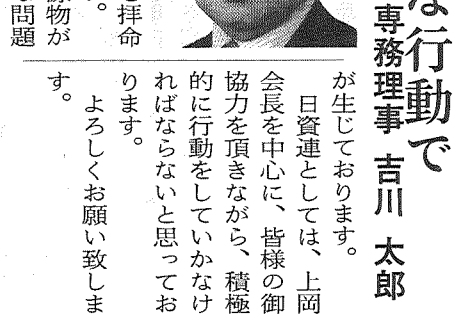
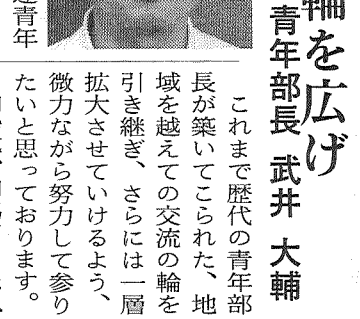
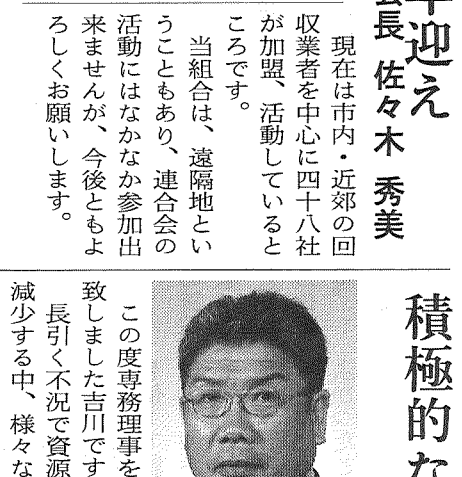
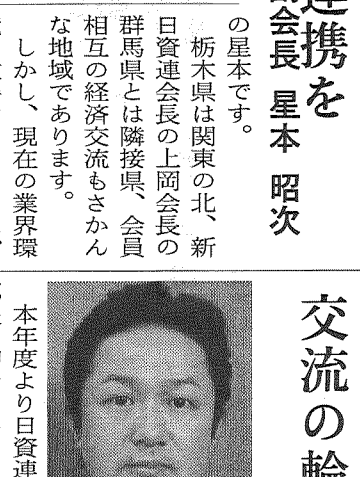
よろしくお願ひ致します。



交流の輪を広げ 青年部長 武井 大輔

これまで歴代の青年部長が築いてこられた、地域を越えての交流の輪を引き継ぎ、さらには一層拡大させていけるよう、微力ながら努力して参りたいと思っております。

御指導、御協力のほど、お願ひ申し上げます。



沖縄大会にご出席いただいたご来賓の方々(上)

全国から150余名が参加

第38回沖繩大会を盛会に開催

去る六月二十五日(金)、第三十八回日資連全国大会が、新たに日資連に加盟した沖繩県の美ら海水族館に程近い「沖繩残波ロイヤルホテル」を会場に約百五十名の参加により開催された。

今回の沖繩県ゼロエミッション事業協同組合は組合員が四社ではばり一年前に発足したばかりであるが、全国大会設置をやり遂げるパイオニア精神に感服するばかりである。

沖繩大会を終えて

沖繩県ゼロエミッション事業協同組合 玉城 栄功

大会は、沖繩県ゼロエミッション事業協同組合の玉城理事長を執行委員長に、下田美智代理理事の名司会により幕を開け、会長挨拶、総会報告、新役員紹介、紺野武郎日資連直前会長の表彰と続き、大会決議の宣言は通例設営地区青年部が担当するところ、沖繩県ゼロエミッション事業協同組合に青

二〇一〇年六月二十五日沖繩残波岬ロイヤルホテルにおいて日資連の第三十八回全国大会を沖繩県ゼロエミッション事業協同組合の設営で開催致しました。遠方にもかかわらず、北は北海道から南は沖繩まで、日本全国から百五十余名の組合員をお迎えして盛大に開催することが出来ました。当日は梅雨が明け沖繩らしい初夏の過ごしやすいい日で天候にも恵まれ、天も味方してくれました。幣組合が全国大会の開催を打診された時、組合で検討致しました。日資連に加盟してまだ間もない組織で全国大会の重責が担えるかと躊躇しましたが、討議の結果「ナンクルナイサ」(何とか成るさ)と受諾することに

あえず日資連の会議には誰かが必ず参加し、全国大会の情報収集をする必要になりました。理事会には早くから沖繩大会の取り組みをして頂きまして、色々とアドバイスや大会開催の資料等も準備して頂きました。理事会としても沖繩大会を是非成功させたいというお気持ちで十分感じました。有難う御座います。沖繩では大会会場の選定、講演会の講師の選定と毎週会議を開き検討しました。会場は読谷村にあるリゾートホテルに決め、交渉したところホテルも全国大会の開催は初めての事なので是非成功させたいと全社を挙げて協力して頂けることになりました。

業者の組合であり、また過去の横浜大会、仙台大会でもリサイクルに関係する専門の講師を御招きし講演とパネルディスカッションをさせて頂きましたので、沖繩大会も沖繩のリサイクルに関する第一人者をお願いしなければならぬので、適任の方が見当たらないのでリサイクルと関係なく沖繩らしいローカル色を出そうと組踊りに決定しました。しかし、何人の方が組踊りを理解してくださるか不安でしたが多くの方に「よかった」と言ってもらって頂き感謝しております。

第三部は大会会場のロイヤルホールから和風大宴会場「守礼」に移動して懇親会を開催致しました。計画当初はロイヤルホールで第一部から第三部の懇親会まで通して開催できないかと模索致し



次は第二部の講演会の講師の選定です。日資連は「専ら四品目」を扱う

以上3点です。このようにやりなさいともう一回フィールドで組合員に説明してみることです。使いたくなるに決まっています。そういう説明会なり、宣伝活動を各組合、やっていませうか。地道だし、しんどいけれどもやってみることです。

秋口になって状況はさらに厳しくなり、切迫してくる。容易なことでは乗り切れません。そういうときにこのすばらしい武器を使っていたら、認定基金が多少ありますので、それを使って説明内容、使い方を書いたパンフレットを作り、全組合員に配布し勉強会を各県単位でやっていただく予定です。

きつとみなさん、日資連に加入してよかったと思うだろうし、日資連に対する求心力も上がるだろうというものです。

平成22年度日資連本部役員

日資連 役職	氏名
会長	上岡 克己
副会長・北海道地区長	佐々木 秀美
副会長・東北地区長	小野寺 盛
副会長・関東地区長	星本 昭次
副会長	谷中 勝典
副会長・中部地区長	太田 喜代高
副会長・近畿地区長	山原 丈之
副会長・中国地区長	杉本 邦夫
副会長・四国地区長	金田 浩盟
副会長・九州地区長	西原 茂雄
副会長・沖繩地区長	玉城 栄功
専務理事	吉川 太郎
会計理事	飯田 俊夫
副会計理事	若月 順一
組織運営強化(SK)委員長	片岡 繁
広報委員長	森岡 伸志
調査研究委員長	大島 三千三
業務委員長	吉浦 高志
金属部会長	日下野 隆
古紙部会長	吉浦 高志
回収部会長	高野 昌明
認定制度審査委員長	毒島 龍一
認定制度事務局長	粟津 清
青年部部長	武井 大輔
青年部副部長	山本 勝司
青年部副部長	山本 博之

危機突破の特効薬

「R化証明書」を積極的に お客様に説明すること

（株）資源新報社論説委員 小松 崇明
東北日資連事務局長

日資連認定制度に基づくリサイクル たかというところ難しいことではあり化証明書が業界に導入されてほ5年 ません。

①お客様からリサイクル化証明書を持つてこいと言われて持つて行くようでは源物の回収を掘り起こそうという努力がなされてきたが、いまだに登録業者265社の大半は使いこなせていないというのが実情である。こんないいツールをなぜ使わないのか。経済産業省の認可団体が発行するリサイクル化証明書のことには制度的な欠陥があるのか。最近になってもう一度再度に説明を行ってみたいところ「初めて聞いた」という声が多かった。リサイクル化証明書の注文も断然増えた。と、こういうことをやっ

説明するということ努力をしなければなら

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ
(http://www.danrikyo.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(全国段ボール工業組合連合会内)
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101

需要業界に協力求め

持ち去り古紙の流通阻止で

日資連では業務委員会を中心に特別チームを作り、古紙の買い入れ先である製紙会社と輸出商社に持ち去り古紙の流通を阻止する運動への協力を願っている事とした。

策も実施してきたにも関わらずだ。日資連は今日まで「持ち去り」を行う業者を対象として対応策を実施してきた。しかし、実質的に取り締まる力は無く、自治体の取締りのバックアップという形にとどまざる得なかった。

そこで方針の変更をはかり持ち去られた古紙の流通を阻止する事を目標とした。そのためには本来集直両業界の自助努力により解決しなければならぬのだが、どちらの組合にも属さない、いわゆるアウトサイダーがほとんどであり、またその数が多い。

日資連としては、今後も引き続き、未だ条例の施行されていない自治体に対し施行されるよう働きかける等、可能な限りの運動も地道に続けて行くが、製紙会社が社会的責任も鑑み賛同頂ければこの運動が各地の自治体も含め全国的なものとなって行くと思われる。

先日、上岡新会長と新役員が経済産業省へ表敬訪問した際にも話題の一つとして「持ち去り行為」が取り上げられた。住民と持ち去り業者とのトラブルの事例や国内外の古紙流通への悪影響、そして我々回収業者の実質被害を日資連より説明した。

回収業者は一昨年発生したリーマンショック以降、再生資源の発生が激減し経営状態が悪化しており、さらに持ち去られる事が取り扱量の減少に拍車をかけている事を特に強調した。



日資連新ロゴマーク決定！
あ〜すれっく第四七号にて募集しました日資連の新しいロゴマークが決まりました。採用者等につきましては、次号で掲載致します。なお、七月二十一日付けで商標登録が完了しました。

また地域によっては行政回収の委託経費の一部に集めた古紙の売却益を組み込む事もあるので直接収入減になっている事や、何より委託車両を削減される事による回収業者の窮状も話された。

日本再生資源事業協同組合連合会
会長 上岡克己
東京都千代田区三崎町2-21-1
TEL: 03-3263-9101

お願い
「持ち去り古紙の流通阻止運動」にご賛同下さい

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
日本再生資源事業協同組合連合会(日資連)は再生資源を回収する業者で構成する全国団体であり、所属する業者は地方自治体や地域住民及び民間事業所と連携し、各地域の古紙リサイクル事業を推進しております。
さらに全国で実施している行政回収や集団回収は、近年の驚異的な古紙回収率の推移を見ても解るように、安定した3R型資源リサイクルシステムの重要な手段ともなっています。
しかしご承知のように、このような地域に根ざした回収現場から、古紙などを不当に持ち去る行為が全国で頻発する事態となってきました。そのため「古紙持ち去り阻止条例」を制定する自治体も多く見られ、その抑止に向けた動きが加速されていますが、効果は期待されるほど顕著ではありません。
まずは関係業界が率先して、「持ち去り古紙」の流通を阻止し、正常なルートに戻す運動を実施しなければ、業界の信用と秩序を失い、市民や自治体の協力が得られなくなり、古紙回収率の維持や再生の促進も不可能になる筈です。また不正に流通した製紙原料の使用は、「古紙混入率偽装問題」以上にリサイクル市民の感情を無視することになっているのではないのでしょうか。
つきましては、「持ち去り古紙」の流通を阻止する運動にご賛同頂いて正常な古紙リサイクルシステムの構築にご協力を切にお願い申し上げます。

要望事項

日資連の「持ち去り古紙流通阻止運動」に賛同の意思表明を、頂きたくお願い致します。
(日資連ホームページに掲載させていただきます。)

編集後記

編集後記なるものを初めて書く事になった。これまで「あ〜すれっく」の記事を書いた事がなかったわけではないが、基本は読者側だった。晴天の霹靂、突然「こちら側」に身を置いてみる、ページ数・字数・締切等々、今まで迫られたことの無いプレッシャーに尻を叩かれる。別に文章や編集のプロになった訳ではないので、胃が痛くなる事も無いが、少しは気の利いた内容と表現を、と考

えると「そっち側」で良かったのに・・・とも思う。とにかく今号は少々泥縄的な所も実はあった。「初めてに免じて」という極めて典型的な言い訳を、恥ずかしげも無く使わせていただいております。まあ命を取られる訳でなし、と気を取り直し「あれ面白いよ！」と一度でも言われる事を目指してみよう。

栃木県リサイクル協同組合連合会
会長 星本昭次
〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町 257
TEL 028(652)0245・FAX 028(652)0736

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会
会長 熊倉一夫
〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6 富士ビル5階A号室
TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

奈良県資源回収事業協同組合
理事長 山原文之
〒635-0095 奈良県大和高田市大中 106-2 経済会館6階
TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

群馬県再生資源事業協同組合連合会
会長 上岡克己
〒371-0857 群馬県前橋市高井町 1-26-3
TEL 0272(53)7291・FAX 0272(54)6221

東京都資源回収事業協同組合
理事長 吉川太郎
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

岡山県資源リサイクル事業協同組合連合会
会長 平林久一
〒700-0973 岡山県岡山市下中野 347-104 ヒラキンビル内
TEL 086(246)0011・FAX 086(246)1100

埼玉県再生資源事業協同組合
理事長 細田益弘
〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 2-156-1 エクセルハイム103
TEL 048(607)7401・FAX 048(607)7402

神奈川県資源回収商業協同組合
理事長 小松敏和
〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17 モンテベルデ横浜 311号室
TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

新宿区リサイクル事業協同組合
理事長 佐藤一郎
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12 小池商店本社内
TEL 03(5363)3196・FAX 03(5336)3197